



コロナ禍での本会議の様子

第2回定例会

令和2年第2回定例会は、6月8日に開会し、「門真市水道条例及び門真市下水道条例の一部改正について」など、市長提出議案25件について慎重に審議した結果、いずれも原案のとおり可決、承認並びに同意し、6月19日に閉会しました。

新型コロナウイルス対策として水道基本料金減免を含む補正予算など25議案を可決

2年度補正予算

(水道事業会計補正予算(第2号))

(議決結果) 全員異議なく可決

(民生水道常任委員会審査概要)

水道基本料金を7月検針分

より4カ月間5割減免へ

問 減免に至った経緯は。

答 4月17日付で市議会から新型コロナウイルス対策に関する緊急要望書を受けた後、市民への追加支援策として実施が可能であるかの検討を行ってきた。

このような中、国の交付金の活用による一般会計からの繰り入れが見込めることに加え、元年度の水道事業会計の決算見込みにおける上振れ分、また、緊急事態宣言の発動期間及び引き続き感染予防のために自宅等での手洗い奨励等総合的に勘案した結果、同料金を4カ月間5割の減免を行うこととした。

問 一般家庭での負担軽減額は。

答 2カ月の税込み金額は、1082円、4カ月で、2164円である。

水道料金及び

下水道使用料改定へ

門真市水道条例及び門真市下水道条例の一部改正については、現在の水道事業及び公共下水道事業の経営状況に鑑み、水道料金の適正化及び公共下水道事業の持続可能な経営基盤の構築に向けた下水道使用料の適正化を図るものです。

(議決結果) 反対討論の後、賛成多数で可決

(民生水道常任委員会審査概要)

問 水道料金減額への経緯は。

答 同料金は経営状況が安定的であることを踏まえ、財政計画を上回る純利益相当額と費用削減相当額を加えた約12億円を財源として、同計画期間内における料金水準適正化のため改定する。

問 下水道使用料増額への経緯は。

答 同使用料単価等は類似団体平均より低く、経費回収率は100%を下回るなど経営状況が厳しい中、今後の水需要予測を踏まえた同使用料の収入財源と維持管理費用に加え、未普及地域への整備事業及び老朽化対策等に要する投資費用との財源試算を行ったところ、多額の収支ギャップが生じる見通しとなった。平成7年から25年間据え置き同使用料の適正化を図り、下水道事業の持続可能な経営基盤の構築に向け改定する。

もくじ

- 議案審議等の概要……………1～3ページ
 - ・水道事業会計補正予算、水道料金及び下水道使用料の改定
 - ・一般会計補正予算、門真市税条例等の一部改正
 - ・人事案件など
- 一般質問……………3～7ページ
- 議決結果、議会活動日誌……………8ページ

問 社会情勢を考慮し、改定実施時期を先送りする考えは。

答 同使用料の改定は待ったなしの状況であり、先送りすると将来への負担が増すことになる。持続可能な経営基盤の構築に向け、同使用料改定を実施する。

問 同使用料が値上げとなるタイミングは。

答 各家庭の検針日等により異なるが、減免が適用された後、4カ月が経過した時点から日割りの新料金が適用される。



2年度補正予算
（一般会計補正予算（第5号））

（議決結果） 反対討論の後、賛成多数で可決

（文教子ども常任委員会 審査概要）

冷感タオルを小・中学校の
全児童・生徒に配付

問 同タオル配付に至った経緯は。

答 新型コロナウイルス感染症拡大防止による長期休業で起こった学習の遅れを補うため、夏休みを短縮し、授業を行うこととなった。各学校にて授業中にエアコンを作動させるものの、3密回避の観点から定期的に窓を開けての換気が必要となり、教室内の温度が上昇することが懸念されることから、熱中症対策として同タオルを全児童・生徒に配付することとなった。



臨時休校の学習の遅れに対し
学習支援員を配置

問 学習支援員と、既存の学校サポートスタッフとの違いは。

答 学習支援員は、今般の臨時休

校に伴う学習の遅れへの対応や児童・生徒への学習支援が主な目的である。

学校サポートスタッフは、チーム学校による働き方改革の一環として、教員が児童・生徒に向き合う時間や教材研究等に当たる時間を確保することが主な目的である。それぞれの具体的な内容は左表のとおりである。

学習支援員	学校サポートスタッフ
●家庭学習課題の準備やチェック ●ティーム・ティーチング指導の実施 ●学級担任の補助等の実施	●教材プリントの印刷 ●電話や来客の応対 ●給食の補助



（その他の質疑項目）
・校内ネットワーク整備の予定について など

（民生水道常任委員会 審査概要）

新型コロナ対策を推進
住居確保給付金の要件緩和へ

問 同給付金の概要は。

答 住居を失うおそれのある者等に対し、一定期間家賃相当額を支給する制度であり、対象者は離職や廃業により経済的に困窮し住居を失った者等である。

問 同給付金の給付額と期間は。

答 給付額は単身で月額3万9000円、2人世帯で4万7000円が上限である。
また、給付期間は原則3カ月、最長で9カ月間である。

問 要件緩和の内容は。

答 離職や廃業だけではなく、休業等により収入が減少し、離職等と同程度の状況にある者も支給対象となり、申請時のハローワークへの求職申し込みが不要となった。

問 今年度の申請想定件数は。

答 当初は19件を見込んでいたが、今回90件の枠を確保した。

問 5月末時点の申請件数と昨年度の申請件数は。

答 申請要件の緩和もあり63件であった。昨年度は9件である。

問 申請件数が予算額を超えた場合の対応は。

答 新たに補正予算を組むなど、迅速に生活困窮者の支援ができるよう努めていく。

図書館における
新型コロナ対策進む

問 現在の取り組み状況は。

答 入館時のアルコール消毒、蔵書検索端末やカウンター、カーペット等の消毒、混雑緩和のため予約本貸し出し専用カウンターの設置等対策を行っている。
また、同ウィルスはプラスチックの表面では最大72時間、ボール紙では最大24時間生存することから、返却本は3日間保管後に書架に戻すようにしている。

問 今後の取り組み策は。

答 接触感染や飛沫感染を防止するため、消耗品として使い捨てビニール手袋、備品として自動アルコール消毒機、カウンター用ビニールカーテン、図書消毒機等の導入を予定している。

問 図書消毒機とは。

答 一度に6冊の本を開いた状態で、紫外線を照射し、ページの途中で殺菌消毒を行い、送風によりほこりや髪の毛を除去し、消臭抗菌剤を循環させ不快なおいを消臭するものである。

（総務建設常任委員会 審査概要）

新型コロナウイルス感染症対応
地方創生臨時交付金の活用へ

問 同交付金の概要は。

答 地方公共団体が地域の実情に応じてきめ細やかに必要な事業を実施できるよう創設された1兆円規模の交付金であり、その内訳として約7000億円が都道府県及び市町村が実施する地方単独事業に充てられる。

問 地方単独事業に係る交付額の算定根拠は。

答 人口や財政力、同ウィルスの感染状況等を勘案し算定されており、本市の交付金限度額は3億8739万7000円となっている。

問 同交付金実施計画の概要は。

答 おうち時間応援給付金給付事業、休業要請支援金事業等を記載しており、交付対象経費の計上額は6億7619万円である。

問 同実施計画の策定状況は。

答 全庁の対応状況を確認しつつ事業の精査を行いながら作成し、府を通じて国に提出したところである。

問 今後の市の考えは。

答 第2、第3波の到来も想定されることから、引き続き感染拡大防止対策を行うことに加え、新しい生活様式への対応等も必

要となるため、事務事業の見直しとあわせて、同交付金を初め、国の補助金等を最大限活用しつつ対応策の検討を行っていく。

未婚のひとり親を支援
ひとり親控除を新設へ

門真市税条例等の一部改正については、地方税法等の一部を改正する法律等の公布に伴い、個人市民税における未婚のひとり親に対する税制上の措置等、所有者不明土地等に係る固定資産税の課題への対応、軽自動車税環境性能割の非課税の特例措置の延長及び市たばこ税における軽量な葉巻たばこの課税方式の見直しを行うとともに、所要の規定整備を行うものです。

（議決結果） 全員異議なく可決

（総務建設常任委員会 審査概要）

問 新設された同控除の内容は。

答 現行の寡婦控除の対象は、一度は婚姻をし、その後、死別又は離別をした者とされていた。改正後は、ひとり親控除として子を扶養するひとり親であれば、未婚の者でも控除を受けることができることとなる。

問 個人市民税の控除要件と控除額は。

答 男性、女性いずれも所得500万円以下という要件を付された上で控除額は30万円となる。

永年勤続の議員へ表彰状を伝達

去る5月27日に開催された第96回全国市議会議長会定期総会において永年勤続議員の表彰が行われ、本市議会からは
(20年表彰)

五味 聖二 議員

が表彰の栄誉に浴されました。本市議会では6月18日の定例会の開議に先立ち、表彰状の伝達を行い、満場の拍手でその栄誉をたたえ、また宮本市長からお祝いの言葉がありました。これに対し、五味議員から謝辞が述べられました。



表彰状伝達の様子



新型コロナウイルス
対策
推進中

COVID
19

門真市議会



人事案件に同意

〈農業委員会委員の任命〉

門真市三ツ島1丁目15番14号

中野 利佑

門真市打越町1番24号

中道 善之

門真市柳田町9番28-302号

木原 早智子

門真市北島町15番18号

浅田 幸次

門真市江端町29番8号

岩田 隆行

門真市下島町28番20号

巽 茂樹

門真市大倉町7番23号

田原 喜信

門真市桑才町28番17号

寺内 隆史

門真市中町4番3号

橋中 信廣

以上9件は任期満了に伴い、提案されたもので、いずれも任命に同意しました。

〈監査委員の選任〉

宝塚市野上5丁目4-46-2

菅原 正明

本件は任期満了に伴い、提案されたもので、選任に同意しました。

〈固定資産評価審査委員会委員の選任〉

門真市柳町3番22号

木本 健司

本件は同委員の任期が2年7月27日をもって満了することに伴い、提案されたもので、選任に同意しました。

〈人権擁護委員候補者の推薦〉

門真市下馬伏町6番17号

大西 孝治

本件は任期満了に伴い、提案されたもので、推薦に同意しました。

政務活動費

収支報告書等の公開

本市議会議員の元年度政務活動費収支報告書及び領収書等の写しを2年7月から公開しています。閲覧される際に申し込みなどの手続は必要ありません。

閲覧場所

情報コーナー（市役所別館1階）

閲覧時間

月曜日～金曜日（閉庁日は除く）午前9時～午後5時30分

※市議会ホームページでは、収支報告書の写しを閲覧することができます。



一般質問

6月18日、19日の本会議において、18名の議員が市政に対する質問を行いました。

主な質問と答弁の要旨を3面から6面に掲載しています。（通告順）

質問・答弁の詳細な内容については、市議会ホームページをごらんください。
※第2回定例会の会議録は9月初旬に掲載する予定です。

市議会ホームページでは、
本会議録画継ぎを閲覧できます。

門真市議会インターネット中継

検索



認知症施策について



松本 京子
(公明党)

認知症高齢者の損害賠償保険制度導入について、市の見解は。

府内において、同高齢者等を対象に日常生活で法律上の損害賠償責任を負った際に、保険で補償を行う認知症高齢者等個人賠償責任保険事業を実施している事例もあることから、有用な施策の一つとして調査研究していく。

健康施策について

医療用補正具の購入費助成制度導入について、市の見解は。

就学援助について

府内において、がん患者医療用ウィッグや、乳房補正具の購入費助成事業を実施している事例もあることから、がん患者の生活の質の向上等を踏まえ、他市の状況を注視しつつ調査研究していく。

新入学児童・生徒学用品費の入学前支給について、市の見解は。

大規模なシステム改修費がかかることや支給した児童・生徒が入学直前に転出した場合の対応等の課題があるが、保護者の負担軽減につながるものとして認識しており、今後も調査研究していく。





池田美佐子
(公明党)

ごみの収集・回収作業について

問 環境に優しいきれいなまち門真を目指すため、一人一人のごみの分別や減量化の取り組みに加え、他市が実施している夜間収集も有効であると考えますが、どうか。

答 夜間に回収車が走るため防犯効果がある、朝の通勤時に歩道等にごみがないため、まちの景観が保たれる、歩行者等の通行に支障がなくなる、交通渋滞の緩和及び収集効率向上等のメリットが考えられる。

一方、夜間作業による音への苦



坂本大次郎
(公明党)

新たな門真のまちづくりについて

問 持続可能なまちづくりに向けてローカル5Gの運用が有効と考えるが、市の見解は。

答 電波の特性から主に障害物のない屋内、屋外での利用に限定されることや初期整備に高額費用を要するなどの課題はあるが、超高速、多数同時接続を生かした5G技術とAIなどの活用でさまざまな社会問題を解決でき



情、深夜作業に伴う収集費用の増加、人目がないため資源物が持ち去られやすいことや不法投棄の増加等のデメリットが考えられる。

導入への市の見解は。

答 市街地等の一部地域に導入している事例はあるが、本市はごみ焼却施設が住宅地に近接するため、収集のみならず処理体制においても夜間収集が可能であるかどうか、周辺自治体等の動向を注視しつつ、引き続き、情報収集に努める。



るツールであると考えており、技術開発の状況を注視しつつ調査研究していく。

ユニバーサルデザイン(UD)フォントについて

問 UDフォントは誰もが読みやすく誤読されにくいいため、学力向上等が期待できると考えるが、本市の導入状況は。

答 全ての小・中学校で導入しており、みんなにやさしい文字であるため、各校で教材プリントや児童用掲示看板等に活用している。



UDフォントを活用した掲示看板



中道 建
(自由民主党)

地域防災対策を観点とした自治会への補助について

問 自治会が中心となって活動している自主防災組織への備品の完備を推進することが、地域防災力向上につながると考えるが、市の見解は。

答 災害発生時には、自分の家族や財産、地域はみずから守るという自助・共助が大きな役割を果たすと言われており、自助・共助による地域防災力向上のため、同組織の防災意識向上は重要であると考えている。



寺西 敬子
(公明党)

新型コロナ対策における市の取り組みについて

問 感染拡大防止への市民啓発は。感染防止の三つの基本である「身体的距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗い」に加え3密を避けるなどの新しい生活様式についてホームページ

答 健康観察カードは、教室前の箱の中に、入れます。健康観察カードを忘れた人は、職員室前で待ちます。



問 今後の取り組みは。

答 これまでも、同組織は自治会が中心となり自主防災活動を行っており、ハンマー、ボール及びスコップなどをセットにした防災資機材を貸与している。

また、自主的な防災訓練に必要な災害物資の提供や、市職員による防災講話等を実施しており、地域の防災意識向上のため、自助・共助のベ

ースとなる自治会が中心となっており、同組織に一層の支援を引き続き行っていく。



市職員による防災講話の様子



土山 重樹
(自由民主党)

危機管理上の連携について

問 市が知らなかった門真警察署等が対応した不発弾処理の経緯は。

答 周辺住民への避難誘導を必要としない小規模な爆発物処理であったため、同警察署から連絡がないものであった。

しかし、市民の生命、身体及び財産を守る観点から、同警察署に対し、改めて確実に情報を伝えてもらうよう初動体制の構築や迅速な連絡と情報提供を強く要請した。

問 公式LINEアカウント導入による、危機管理上の情報提供に



内海 武寿
(公明党)

特別定額給付金について

問 当初30万円の給付が検討される中、多くの国民の不満の声を受けて、公明党の山口代表が安倍首相に直談判し、所得制限なしの一人一律10万円の給付が実現した。この給付金の申請において、本市が独自で講じた対応策は。

答 給付金の申請手続は、オンライン及び郵送が基本であるが、書類作成に不安を持つ多くの人が来庁すると判断し、総合体育館にて臨時

問 配偶者からの暴力等を理由に住民票を移せないDV等対象者より申し出があった際には、住民票所在市町村に居住地が伝わらないよう都道府県経由で調整し、避難先の市町村で支給する。



ついて、市の考えは。

答 災害情報等のリアルタイムな情報発信等に活用できる有効なツールの一つと考えており、導入に向けて、庁内関係部署と調整中である。

夏場における学習環境整備について

問 学校にエアコンが設置されて長い年月がたつが、メンテナンスや機器更新について、市の考えは。

答 試運転の実施や不具合箇所に関する随時報告により、常に状況を把握し適宜修繕等を行っている。しかし、更新の時期を迎えていることから、国庫補助金の活用やリースによる更新等、効果的な手法の検討を進めており、引き続き学習環境の維持に努める。

相談窓口を開設した結果、混乱なく対応できた。また、給付金の一連の作業スキームを庁舎内部で完結させ、作業時間短縮と不備等への即応を可能とした。

問 DVや虐待等が理由で世帯主と住居を一にしていない人への対応は。

答 配偶者からの暴力等を理由に住民票を移せないDV等対象者より申し出があった際には、住民票所在市町村に居住地が伝わらないよう都道府県経由で調整し、避難先の市町村で支給する。

また、虐待等で施設入所中の児童などは、措置等を行った都道府県等、住民票所在市町村及び施設所在市町村の間で情報共有し、施設職員による代理申請により、児童など本人名義の口座に支給する。



森 博孝
(無所属)

消毒用アルコールについて

問 消防法における定義は。

答 同法では「危険物に該当する第四類アルコール類」に分類されており、指定数量や貯蔵について規定している。

問 保管方法は。

答 指定数量は危険物の規制に関する政令において400リットルとしており、貯蔵し取り扱う際は所轄消防長の許可が必要になる。

また、同数量5分の1以上同数量未満の取り扱いについては守口市門真市消防組合火災予防条例で



福田 英彦
(日本共産党)

浜町保育園を廃園とする基本方針の問題点について

問 同保育園の廃園方針の保護者への説明や意見聴取等を通じ、対応策について検討しているのとことだが、その内容は。

答 当初、在園児は転園と説明したが、保育を提供できる環境の確保について検討を行ってきた結果、専用の園庭がないなど一定の制限があるが、市役所分館1階を活用し、1歳から3歳児までが卒園するまでの間、保育を提供する考えに至った。また、少人数であるこ

技術上の基準が定められている。

問 取り扱いの周知方法は。

答 使用機会がふえたことにより、安全に取り扱いができるよう同消防組合と連携を図っていく。

今後の自然災害対策について

問 コロナ禍を経験した今、必要となる災害への備えは。

答 非接触型の体温計、飛沫防止のパーテーション及び発熱者用段ボールベッドなど、感染症への対策として必要な物資等調査中である。

問 ソーシャルディスタンスの確保には指定避難所等の見直しが必要と考えるが、市の見解は。

答 同避難所以外の避難所の確保策として、市内ホテルに対し、災害協定締結の調整を進めている。

とを心配した保護者の声により、現在の1、2歳児の追加募集を検討しているが、年次途中のため、入園希望者は多くないのではないかと心配している。

旧第一中学校跡地活用について

問 古川橋駅北側の同跡地活用でサウンディング型市場調査の結果に基づき土地を売却としたが、事業者の提案書の開示請求では全て黒塗りの「のり弁」状況であった。今後市民や議会が検証できるようにすべきと考えるが、市の見解は。

答 提案書や議事録には知的財産が含まれ、全て開示できないため、同調査実施結果概要として取りまとめ、同跡地整備活用方法の決定とあわせて公表している。そのため、検証は可能であると考えている。



坂本 拓哉
(大阪維新の会
緑風議員団)

クラウドサービスによる学習支援について

問 同支援に向けた市の考えは。

答 クラウド上に個々のデータとして日々の学びを積み重ねることができ、年間を通じ必要に応じて児童・生徒自身が振り返ることができるため、苦手分野の認識だけでなく成長を実感することが可能になると考えている。

問 登校できていない児童・生徒に対し、学習のやりとりができるかと考えるが、本市の現状は。

答 同サービスの学習ドリルを試



池田 治子
(自由民主党)

生涯学習複合施設について

問 子育てファミリー層を初めとした、施策の考え方は。

答 子どもを中心とした多世代交流を促進することなどを想定しており、図書館部門及び文化会館部門においても、さまざまな企画を展開する交流拠点となるよう提案を求めている。

問 バリアフリーへの市の考えは。

答 バリアフリー法を初めとする関係法令等を遵守することはもとより、高齢者や障がい者の団体等から幅広い意見を取り入れるため、

験的に活用しており、児童・生徒一人に一つのIDやパスワードを付与することの効果や課題点を検証しつつ、適応指導教室「かがやき」に通う児童・生徒にも、教育センターの端末を利用して学習活動を取り入れていく予定である。

問 府との連携は重要と考えるが、今後に向けた取り組みは。

答 府の構想にも注視しつつ児童・生徒の学びを第一に考え、教材に関する調査研究を行いながら、運用面での課題解決等を考慮し、最適の選択を行っていく。

一方で一人に一つのIDやパスワードを付与することへの、管理方法等の指導を児童・生徒の成長段階に合わせて適切に行う必要があり、情報モラルやセキュリティにおける指導を行っていく。

市民等によるワークショップを開催し、ユニバーサルデザインにも配慮した整備を進めていく。

文化芸術活動を継続するための支援について

問 文化芸術は人々の暮らしに必要不可欠で消滅させてはならないと考えるが、コロナ禍で痛手を受けた同活動への支援策は。

答 イベントの中止で発生したキャンセル料の免除、支払い済み利用料の全額返還及び利用日の変更を可能とした。今後も継続できる環境の提供に努めていく。



問 文化会館閉館に伴う支援策は。

答 他の施設で生涯学習活動を継続できるよう丁寧に周知していく。



亀井 淳
(日本共産党)

35人学級の復活を

問 小・中学校で35人以上の学級を調べた結果、大和田小1年生40人、古川橋小3年生40人、上野口小4年生41人、第三中2年生40・5人、3年生41・8人、第四中2年生41人、3年生41・3人、第七中3年生40人、門真はすはな中2年生41人であった。

子どもの抱えるさまざまな不安や悩み、問題行動をきめ細かく見ることができ、学習効果があると検証されているため、同学級は必要だと考えるが、市の考えは。

答 きめ細かな指導を実現する環境づくり事業を今後も進めるとともに、同学級の拡充について国・府に引き続き要望していく。

問 コロナ禍での各小・中学校における感染症予防対策は。

答 全ての学校において府の感染症対策マニュアルに基づき対策を行っている。

また、担任外や府の加配教員を活用しながら国語、算数、数学、英語等の主要教科において、学級を分割して少人数による授業を実施している。給食時においても、空き教室を活用し、1教室当たりの人数を減らして実施している学校もある。



● 定例会の開催予定

令和2年第3回定例会			
9月	7日(月)	午前10時から	本 会 議
		本会議終了後	決算特別委員会
	8日(火)	午前10時から	総務建設常任委員会
	9日(水)		民生水道常任委員会
	10日(木)		文教こども常任委員会
	17日(木)		本 会 議 (一般質問)
	18日(金)		本 会 議 (一般質問)

※日程は、都合により変更となる場合あり。



■市政に対する一般質問の要旨（通告順）

松本 京子（公明党）

1 認知症施策について

- (1) 認知症の現状について
- (2) 認知症高齢者の損害賠償制度導入について

2 健康施策について

- (1) フレイル健診について
- (2) がんになっても働ける社会構築に向けた取り組みについて
- (3) ウイッグ等購入費助成について

3 就学援助について

- (1) 就学援助の現状について
- (2) 新入学児童・生徒学用品費の入学前支給について

池田美佐子（公明党）

1 ごみの収集・回収作業について

- (1) 今後のごみの回収のあり方について

坂本大次郎（公明党）

1 新たな門真のまちづくりについて

- (1) ローカル5Gについて
- (2) ラウンドアバウトについて

2 ユニバーサルデザイン（UD）について

- (1) ユニバーサルデザイン（UD）フォントについて
- (2) 小・中学校におけるUDフォントの導入について

中道 建（自由民主党）

1 地域防災対策を観点とした自治会への補助について

- (1) 自治会を対象とする防災対策に対しての考え方と、取り組みについて

寺西 敬子（公明党）

1 新型コロナウイルス感染症拡大における市の取り組みについて

- (1) 感染症の拡大防止対策について
- (2) 熱中症対策について

土山 重樹（自由民主党）

1 危機管理上の連携について

- (1) 他団体と情報共有について

2 新型コロナによる学校教育への影響について

- (1) 夏場における学習環境整備について
- (2) 発熱時の対応について

3 産業支援について

- (1) 他市の取り組みについて
- (2) 継続的な支援について

4 今後の財政について

- (1) 計画や事業の見直しについて
- (2) 地方債等の活用について

内海 武寿（公明党）

1 新型コロナウイルス感染症による影響について

- (1) 地方債の発行について
- (2) 便乗詐欺防止について
- (3) 特別定額給付金について
- (4) 民間企業からの支援について

2 健康増進について

- (1) 受動喫煙防止について
- (2) 風疹の感染予防について

後藤 太平（公明党）

1 デマンド交通について

- (1) 本市の現状について
- (2) コミュニティバスの今後の見通しについて

2 災害時の市民への情報発信について

- (1) コロナ禍での情報発信について
- (2) 今後の情報発信について

岡本 宗城（公明党）

1 新型コロナウイルス感染拡大等に関する対応について

- (1) 緊急事態宣言下での門真市の対応について
- (2) 2020年度第2次補正予算について
- (3) 災害対策と新型コロナウイルス感染対策等について
- (4) 学びの保障について

大西 康弘（自由民主党）

1 検診について

- (1) 各種検診、健康診査、健康相談について

2 マイナポイントについて

- (1) マイナポイントの内容、今後の対応について

3 中小企業支援について

- (1) 各種申請実績と今後の対応について
- (2) コロナ対策経済施策について

吉水 志晴（大阪維新の会緑風議員団）

1 学校教育における新型コロナウイルス感染症に対する取り組み等について

- (1) 各小・中学校の対応・取り組みについて
- (2) 教育委員会の取り組みについて
- (3) 学習のおくれを今後どのように取り戻すのか対応策や取り組み等について
- (4) 遠隔学習を行う際の通信環境について

大倉 基文（大阪維新の会緑風議員団）

1 門真市旧第一中学校跡地整備活用について

- (1) 新型コロナウイルスによるスケジュール変更や影響について
- (2) 中核施設となる生涯学習複合施設整備の今後の進め方について
- (3) 駅前広場について

2 門真市行財政改善アクションプランについて

- (1) 進捗状況と最終年度としての取り組みについて

滝井 稔元（大阪維新の会緑風議員団）

1 「地域猫活動」について

- (1) 実績について
- (2) 事務継承について
- (3) 周知啓発活動等について

2 「新型コロナ対策」について

- (1) これまでと今後について

森 博孝（無所属）

1 今後の自然災害への対応について

- (1) 備蓄品の状況について
- (2) コロナ禍における避難所運営について

2 消毒用アルコールについて

- (1) アルコール類の消防法定義について
- (2) 消毒用アルコール取り扱いの周知について

3 アフターコロナの働き方について

- (1) コロナ禍での職員の働き方について
- (2) 今後の職員の働き方について

福田 英彦（日本共産党）

1 浜町保育園廃園方針（門真市公立園最適化基本方針）の問題点について

- (1) 門真市公立園最適化基本方針決定に至る経過と問題点について
- (2) 基本方針決定後の保護者への説明、意見聴取と対応について
- (3) 基本方針を見直し、保護者の願いに沿った浜町保育園存続の考えについて

2 旧第一中学校跡地活用について

- (1) 市保有地売却決定に至る経過とサウンディング型市場調査内容等を市民が検証できる手段について
- (2) 事業用定期借地等と売却との具体的な比較検討内容について
- (3) 中町地区との関係について

坂本 拓哉（大阪維新の会緑風議員団）

1 クラウドサービスによる学習支援について

- (1) 他県での取り組みや大阪府内での取り組みについて

池田 治子（自由民主党）

1 生涯学習複合施設について

- (1) 子育てファミリー層向けの施策について
- (2) バリアフリーについて

2 文化活動を継続するための支援について

- (1) コロナ禍における文化芸術活動の支援策について
- (2) 文化会館閉館に伴う活動の継続支援について

亀井 淳（日本共産党）

1 新型コロナウイルス感染症対策の充実について

- (1) 小規模事業者応援金や学校給食無償化など市独自支援施策の拡大について
- (2) 市長のリーダーシップについて

2 35人学級を復活することについて

- (1) 現状について
- (2) どの子も豊かな学力を身につけることについて
- (3) コロナ禍とコロナ後の少人数学級の必要性について

3 図書館行政について

- (1) 指定管理者制度導入の問題点について

第2回定例会で審議した案件と議決結果			会派名	公 明 党						大阪維新の会 緑風議員団						自由民主党				日本 共産党		無所属	議決 結果	
			議員名	寺西 敬子	坂本 大次郎	池田 美佐子	松本 京子	後藤 太平	岡本 宗城	内海 武寿	滝井 稔元	坂本 拓哉	大倉 基文	吉水 志晴	五味 聖二	今田 哲哉	中道 建	大西 康弘	池田 治子	土山 重樹	福田 英彦	亀井 淳		森 博孝
議案番号		議案名																						
報 告	報告第2号	令和元年度門真市一般会計繰越明許費繰越計算書について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	議決 不要
	報告第3号	令和元年度門真市水道事業会計予算繰越計算書について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	議決 不要
	報告第4号	令和元年度門真市公共下水道事業会計予算繰越計算書について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	議決 不要
専決処分	承認第13号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度門真市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）について）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
条 例	議案第36号	一般職の職員の退職手当に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第37号	門真市税条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第38号	災害による被害者に対する門真市税の減免に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第39号	門真市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第40号	門真市手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	可決
	議案第41号	門真市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他の案	議案第42号	門真市水道条例及び門真市下水道条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	可決
	議案第35号	大阪広域水道企業団規約の一部変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
補正予算	議案第43号	令和2年度門真市一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	可決
	議案第44号	令和2年度門真市水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第45号	令和2年度門真市公共下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	可決
	議案第58号	令和2年度門真市一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人事案件	議案第46号	監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第47号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第48号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第49号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第50号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第51号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第52号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第53号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第54号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第55号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第56号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第57号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

※表の見方 『○』は賛成、『×』は反対。会派名は大会派・公党順、議員名は議席順。

議 会 活 動 日 誌（令和2年6月1日～7月31日）

- 6・
- 1 議会運営委員会

8 本会議（第2回定例会開会）

9 総務建設常任委員会

10 民生水道常任委員会

11 文教こども常任委員会

12 議会運営委員会

18 本会議

19 本会議（第2回定例会閉会）

- 7・
- 13 守口市門真市消防組合議会臨時会

14 くすのき広域連合議会臨時会

17 後期高齢者医療広域連合議会臨時会

21 淀川左岸治水促進期成同盟総会
大阪広域水道企業団議会臨時会

29 河北市議会議長会

31 飯盛霊園組合議会定例会

